

フロントウインドシールドガラスを除き、材質の変更を認める。板厚の変更、作動、形状の変更は認められない。
ドアパネル以外のウインドガラスの変更についてはビス等で補強すること。

ツーリングカー車両規定

第1条 参加車両

1. **SS0からSS3**クラスの参加車両は、FIA(グループN・A・B)2018JAF量産ツーリングカーとして公認または登録された車両で、2018年JAF国内競技車両規則第1編第3章一般規定、第4章安全規定、第5章量産ツーリングカー規定、並びに本規則に従って改造された車両及びオートポリスが特に認めた車両とする。又、国内で販売される車両の純正部品以外の使用は基本的に認められない。(特規の部品は除く)

第2条 **クラス名称および排気量区分**

1. **SS0: SUPER SPORT 0**
総排気量1790cc以上のNA車両(可変バルブタイミング及び可変バルブリフト機構付き)及び1499cc以上2000cc未満の過給機付き車両及び特に認めた車両。
2. **SS1: SUPER SPORT 1**
総排気量1799cc～2000cc未満の可変バルブタイミング機構付き車両及び特に認めた車両
3. **SS2: SUPER SPORT 2**
総排気量1580cc～1800cc未満の可変バルブタイミング及びバルブリフト機構付き車両及び特に認めた車両
4. **SS3: SUPER SPORT 3**
1480cc～1800ccまでの車両及び特に認めた車両

※上記クラス区分内で参加台数に満たない場合、大会組織委員会はクラス統合を行う場合がある

第3条 エアロパーツ規定

1. ボンネット・トランクを軽量パーツに変更する場合は、主要構造体を変更しないこと。エアダクト付きの裏面は十分な強度があること。
2. エンジンケーシングの内部構造が見えないことを条件にナカダクト及びルーバーを設置することが出来る。但し最大突出量20mmを超えてはならない。
3. 前後バンパーを軽量品に交換する場合は、ボルトにて確実に固定すること、車両全長の2.5%以内であれば、装着可能とする。カナード単体の取り付けは認められない。
4. リヤウイングの最大高さ・幅は車両の全長・全幅・全高を越えないこと。

第4条 ボディワーク

車体の改造、形状の変更は認められない。

第5条 ハードトップ

形状・強度を含み純正品と同様であることを条件に交換が出来る。取り付けは確実に固定すること。

第6条 ウインドガラス

第7条 エンジン

1) シリンダーブロック

同一車両製造者のシリンダーブロックを使用することが出来る。

スリーブ加工が認められる。又、純正オーバーサイズピストンを使用した場合でも元の排気量区分とする。

2) シリンダーヘッド

同一車両製造者のシリンダーヘッドを使用することが出来る。2000年以前の車両に関して、シリンダーヘッド高さは最大1mmまでの研磨が許される。

3) カムシャフト

同一車両製造者のカムシャフトを使用することが出来る。

4) ピストン及びコンロッド

同一車両製造者のピストン及びコンロッドを使用することが出来る。バランス調整は1ヶ未加工品であること。

第8条 エキゾースト・マフラー・排気ガス浄化装置

材質及び変更が認められる。排気ガス浄化装置(触媒)の取り付けが義務付けられる。取り付け位置及び種類は問わない。大会期間中排出ガスを測定する場合がある。(排気ガス測定基準は昭和53年度規制値とする)

第9条 排気音量

JAF国内競技車両規則第4編付則レース車両の排気音量測定に関する指導要綱 JIS A特性音量対比表0.5m測定時の最大音量**130**(dB)を超えないこと。

第10条 **ラジエター及び導風板**

ラジエターの取り付け位置の変更は認められない。導風板を取り付ける場合は暫定的な方法では無く、溶接もしくはビス等で固定する事。又、取り付けの場合、フロントグリル及びフロントバンパー開口部後端までとする。

第11条 フライホイール・クラッチ

材質・ディスク数の変更が認められる。

第12条 トランスミッション

国内向け同車両モデルに設定が有るトランスミッションへの変更が認められる。

第13条 ブレーキ

国内向け同車両モデルに設定が有るブレーキシステムの使用が認められる。

第14条 サスペンション

国内向け同車両モデルに設定が有るサスペンションの使用が認められる。

ダンパーのアッパーマウントに限り調整式を含み変更が認められる。

第15条 デファレンシャルギア及びLSD

デファレンシャルギア・LSDは製造メーカーを問わず変更が認められる。

第16条 シートベルト・FHRシステム

2018年JAF国内競技車両規則第4編付則レース競技における安全ベルトに関する付則及びドライバー装備品に関する付則内、FHRに関する規則に従うこと。

オープンカー車両は5点式以上のベルトを装着する事

第17条 タイヤ

SS0クラスに限り競技専用タイヤの使用が認められる。**SS1～SS3クラスに使用出来るドライタイヤは日本国内で販売される各メーカー発行の一般市販タイヤカタログに記載されたタイヤとする。**競技専用WETタイヤの使用が認められる。

タイヤトレッド面に、機械加工等を施したタイヤの使用の使用及びスリップサインが全周に渡り出ているタイヤの使用は禁止される。タイヤの使用本数の制限は設けない。

第18条 競技車両番号(ゼッケン)

数字はアラビア文字、書体はフーツラボールドであり、それ以外の書体など、ゼッケンベースを含む斜体(斜め文字)の使用は認められない。又、文字位置の相違は認められない。

フーツラボールド書体

0123456789

1. ゼッケン色
ベース色(白) 文字(黒)
2. サイズ
フロント・サイド 縦 300mm 文字幅 50mm以上
リヤ 縦 300mm未満 文字幅 30mm以下
3. 貼り付け位置
前部ドアパネル 左右側面 フロントフードパネル (左側) リヤパネル(バンパー)

第19条 ロールバー

2018JAF国内競技車両規則第1編第4章第6条に従って装着すること。

オープンカーに付いては2018年JAF国内競技車両規則第1編第4章第6条6. 3. 2. 1. 3)に従い、ルーフの補強を推奨する。

第20条 車両重量

ドライバー(装備品込み)・燃料・冷却水・オイル等を含む状態の重量とする。複数人で参加の競技会では各ドライバーの中で一番軽いドライバーを基準とする

第21条 車両別重量一覧(第20条を参照の事)

1) SS0クラス

排気量	最低重量
インテグラ DC5	1100Kg
S2000 AP1	1120Kg
フェアレディZ Z33	1240Kg
フェアレディZ Z34	1280Kg
シルビアターボ S13・S14・S15	1150Kg

2) SS1クラス

排気量	最低重量
86/BRZ ZN6・ZC6	1030Kg
シルビア S13NA	950Kg
シルビア S14NA	980Kg
シルビア S15NA	980Kg
アルテッツア SXE10	980Kg
ロードスター NC	980Kg
MR2 SW20NA	980Kg

3) SS2クラス

排気量	最低重量
シビック EG6	990Kg
シビック EK9	990Kg
インテグラ DC2	1020Kg
カローラレビン AE86	900Kg
カローラレビン AE101	940Kg
カローラレビン AE111	950Kg

4) SS3クラス

排気量	最低重量
スイフト ZC31・32	900Kg
フィット GK5	900Kg
ロードスター NA6	900Kg
ノート E12	900Kg
マーチ k13	900Kg
ロードスター ND	900Kg

その他原動機を変更した車両及び記載が無い車両等の基本重量算出に関しては車両の走行性能等を考慮の上算出する。
基本的な算出は同一型式内最低重量を基本とし、50Kg～80Kgの範囲にて減算されるが車両性能にて調整される場合がある。新規参加車両に関しては、事前に確認の事。

スーパーFJ (S-FJ)車両規定

- 2018年JAF国内競技車両規則第1編第10章 スーパーFJ(S-FJ)規定に合致した車両であること。
- タイヤ
 - ヨコハマゴム株式会社製の指定タイヤとする。
 - 予選から決勝レースまで使用出来るドライタイヤは4本のみとする。
 - ドライ、ウェットタイヤ選択は自由であるが、4本とも同一パターンで装着すること。
- 競技車両番号(ゼッケン)
 - 1)貼り付け位置
フロントカウル上面と左右のリヤウイング翼端板もしくはスペースが無い場合はボディ側面の3ヶ所に貼り付けること。
 - 2)ゼッケンの数字及び書体
数字はアラビア数字、書体はフーツラボールドであり、それ以外の書体は認められない。又、車体と同色の場合、ゼッケンベースは文字と反色を使用すること。

フーツラボールド書体
0123456789
- 消火器・燃料タンク・触媒・シリンダーヘッド封印(個別に組み込まれたエンジンに関しては封印は無しとする)
エントラントは当該器具・機器の写真を携行しなければならない。

TOYOTA GAZOO Racing Netz Cuo Vitz Race NCP131 車両規定

T. R. A. 発行の2018年 TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 車両規定に合致した車両であること。

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ 車両規定

T. R. A. 発行の2018年 TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 車両規定に合致した車両であること。

HONDA N-ONE 車両規定

HORS発行の2018年車両規定に合致した車両であること。

AUTOPOLIS 86/BRZ 車両規定

- 2018年JAF国内競技規則付則自動車登録番号標付車両によるレース開催規定に合致した車両であること。
- 参加車両 トヨタ86 (ZN6) スバルBRZ(ZC6)
- クラス
 - 1クラス :TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ クラブマンシリーズ規定に合致した車両であること。
 - 2クラス :JAF国内競技車両規則第3編第5章スピードSA車両規定に合致した車両及び第7スピードB車両規定に合致した車両であること。

最低重量:1160Kg (マイナーチェンジ前後共)

- タイヤ規定
1・2クラスともTOYOTA GAZOO Racingクラブマンシリーズ規定とし、サイズは205/55R16 とする

タイヤメーカー及び銘柄

住友ゴム工業	DIREZZA	β 02
日本グッドイヤー	EAGLE	RS-SPORT S-SPEC
ブリヂストン	POTENZA	RE12 D
横浜ゴム	ADVAN	A052

2018.02 暫定

TGR レギュレーションに変更が生じた場合その規則に準拠する。

- 使用ゼッケン
数字はアラビア数字、書体はフーツラボールドであり、それ以外の書体など、ゼッケンベースを含む斜体(斜め文字)の使用は認められない。又、文字位置の相違は許されない。
 - 1)ゼッケン色
ベース色(白) 文字(黒)
 - 2)サイズ
フロント・サイド 縦 300mm 文字幅 50mm以上
リヤ 縦 300mm未満 文字幅 30mm以下
 - 3)貼り付け位置
前部ドアパネル 左右側面 フロントフードパネル (左側) リヤパネル(バンパー)
- シートベルト・ドライバー装備品
2018年JAF国内競技車両規則第4編付則レース競技における安全ベルトに関する付則及びドライバー装備品に関する付則内FHRに関する規則に従うこと。